

□目次

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第12回)
  - 「バス事業における地球温暖化対策に関する自主的行動計画について」  
【環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会委員 船戸 裕司】
2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第12回)
  - 「神奈川県ESTの取組み」  
【神奈川県県土整備部都市計画課交通企画班主査 芝田 肇】
3. ニュース／トピック
  - CNG車普及促進モデル地域として、新たに兵庫県尼崎市を指定【国土交通省】
  - 「今後のバスサービス活性化方策検討小委員会」報告書の公表【国土交通省】
  - 乗用車等の新燃費基準(トッランナー基準)の策定【国土交通省、経済産業省】
  - 新世代自動車の本格普及に向けた提言について【経済産業省】
  - 自転車走行環境整備の取組について【国土交通省、警察庁】
  - 歩行者優先施策等新たに11地域の社会実験に着手【国土交通省】
  - ジメチルエーテルを燃料とする散水車の公道走行試験を開始【国土交通省】
  - 社のみやこのまちなか自転車社会実験【仙台市】
  - おでかけ電車社会実験事業【富山市】
  - ディーゼル自動車等運行規制に伴う街頭検査の実施結果について【兵庫県】
  - 「自動車環境セミナー in あまがさき」を開催【尼崎市】
  - 電気自動車普及への挑戦【神奈川県】
  - 第5回「モーダルシフト取り組み優良事業者」の公募について【日本物流団体連合会】
  - 世界初のハイブリッド鉄道車両が営業運転を開始【JR東日本】
  - 大型ハイブリッド路線バスの燃費基準適合車発売【日野自動車】
  - 「Honda 環境年次レポート 2007」を発行【本田技研工業】
  - 小学校における交通・環境学習に関する事例集を公開【交通エコロジー・モビリティ財団】
4. イベント情報
  - 「第二回 日本モビリティ・マネジメント会議」
  - 「西宮市天然ガス自動車フェスティバル」
  - 「エコライド2007イン仙台(パレード走行)実施」

●地球環境大学「脱！温暖化生活」ー交通編「クルマで移動はもったいない！エコ交通の秘訣」

5. その他

●交通エコロジー・モビリティ財団がシンボルマーク・イメージキャラクターを募集中

●記事募集中！

=====

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第12回)

●「バス事業における地球温暖化対策に関する自主的行動計画について」

【環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会委員 船戸 裕司】  
(社団法人日本バス協会業務部長)

平成9年12月に開催された地球温暖化防止京都会議において採択された「京都議定書」は、平成17年2月、ロシアの批准により発効しました。

発効に伴い、我が国には「温室効果ガスの排出量を2008年から2012年の間で、1990年のレベルより6%削減する」という目標が国際間の法的な拘束力として発生しました。このため、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき策定された「京都議定書目標達成計画」を踏まえて、「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネルギー法)」が改定され、公共交通機関の利用促進等が努力義務として盛り込まれました。

日本バス協会は、これまで地球温暖化対策については、平成10年6月に策定した「バス事業における地球温暖化防止ボランティアプラン」に基づき、その推進に努めてきましたが、これを機に、平成18年8月に同プランの内容を時代の要請に合ったものに見直し、なお一層の推進を図るため「バス事業における地球温暖化対策に関する自主的行動計画」と改定し、その着実な実施を図っています。

【温室効果ガス排出の抑制に関する措置】

バス事業における温暖化対策は、自家用自動車からバス等大量輸送交通機関への利用者の転換と燃料の合理的・効率的な使用であることから、その目的を達成するため、運行の効率化、バスの利用促進、エコドライブの全国的推進、低公害バス等の導入促進、燃費性能の維持に配慮したきめ細かい点検・整備の励行、広報・啓発活動等の実施に努めています。

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第12回)

●「神奈川県ESTの取組み」

【神奈川県県土整備部都市計画課交通企画班主査 芝田 肇】

神奈川県では、県の中央部の県央・湘南地域を環境共生モデル都市圏と呼んでおり、豊かな自然環境を生かした環境負荷の少ない都市づくりを進め、持続可能な社会を支え

る環境と共生する都市圏の形成を目指しております。一方で、この地域においては、公共交通が利用しにくい地域があり、自動車利用が増えている状態です。

そこで、本県ではこの地域でカーシェアリングをネットワーク利用することにより、公共交通利用促進が進むことに着目し、平成17年度に特区を取得して、土木事務所などで公務利用することなどにより、普及啓発を行ってきたところです。

(カーシェアリングの公務利用については、詳しくは県のホームページを参照してください。)

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/tosikeikaku/koutsu/carsharing/carsharing.html>

しかしながら、カーシェアリングについては、まだまだ認知度が低く、なかなかネットワーク利用が進んでいかないのが現状です。このような状況を受け、神奈川県では「環境共生モデル都市圏における環境にやさしい交通体系づくり」をテーマとして、この地域において、カーシェアリングなどを二次交通として、鉄道などと組み合わせることにより、業務交通における公共交通利用促進を図ることを目的として、ESTモデル事業に取り組んでおります。

昨年度は、国土交通省関東運輸局や環境省関東環境事務所の協力のもと、この地域の事業者にアンケート調査を行い、実現の可能性などを検討しました。今年度は、この調査をベースとした実証実験などを検討しております。

---

### 3. ニュース／トピック

#### ●CNG車普及促進モデル地域として、新たに兵庫県尼崎市を指定【国土交通省】

国土交通省は、「CNG車普及促進モデル事業」の実施地域として、6月25日付で新たに兵庫県尼崎市を指定します。尼崎市では、地方公共団体を中心とする協議会が主体となり、平成21年度までに112台のCNG車の導入を目指しています。

[http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/090625\\_.html](http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/090625_.html)

#### ●「今後のバスサービス活性化方策検討小委員会」報告書の公表【国土交通省】

国土交通省は、交通政策審議会陸上交通分科会自動車交通部会「今後のバスサービス活性化方策検討小委員会」にて、活力のあるバスサービスの実現に向けた方策について中長期的な視点から総括的な審議をしてきましたが、この度、報告書をとりまとめました。

[http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/090627\\_.html](http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/090627_.html)

#### ●乗用車等の新燃費基準(トプラunner基準)の策定【国土交通省、経済産業省】

国土交通省及び経済産業省は、平成17年7月より「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」の新しい燃費基準(トプラunner基準)について検討し、本年2月に最終的に内容を取りまとめました。この最終取りまとめを受けて、省エネ法の省令・告示を改正し、乗用車等の新燃費基準を策定しました。

[http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/090702\\_.html](http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/090702_.html)

●新世代自動車の本格普及に向けた提言について【経済産業省】

新世代自動車の基礎となる次世代電池技術に関する研究会インフラ整備検討WGは、新世代自動車の本格普及に向けた制度整備、普及促進策、普及開発プロジェクトなどに関する検討結果について、「新世代自動車の本格普及に向けた提言」という形で報告書を取りまとめました。

<http://www.meti.go.jp/press/20070629010/20070629010.html>

●自転車走行環境整備の取組について【国土交通省、警察庁】

国土交通省と警察庁では、自転車を取り巻く現状を明らかにした上で、今後の自転車利用環境のあり方について検討するため、有識者等からなる「新たな自転車利用環境のあり方を考える懇談会」を開催し、懇談会より7月5日にレポートを受け取りました。

[http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/06/060712\\_.html](http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/06/060712_.html)

●歩行者優先施策等新たに11地域の社会実験に着手【国土交通省】

国土交通省では、平成19年度社会実験について、既に発表した22地域に加え、新たに11地域において、歩行者優先施策等の社会実験の支援に着手します。既存制度の大幅な見直しを伴う、抜本的かつ斬新な施策について、当該施策を本格実施に移行するにあたり、事前に効果や影響を確認します。

[http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/06/060706\\_.html](http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/06/060706_.html)

●ジメチルエーテルを燃料とする散水車の公道走行試験を開始【国土交通省】

国土交通省では、大都市を中心とした厳しい大気汚染問題を抜本的に解決し、地球温暖化対策に資するため、独立行政法人交通安全環境研究所を中核的研究機関として産学官の連携により「次世代低公害車開発・実用化プロジェクト」を実施し、大型ディーゼル車を代替する次世代低公害車の開発・実用化の促進に取り組んでいます。

[http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/090706\\_.html](http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/090706_.html)

●社のみやこのまちなか自転車社会実験【仙台市】

仙台市では、平成18年3月に「社の都のまちなか自転車プラン(仙台都心部自転車環境基本計画)」を策定しました。このプランの柱の一つである「安全で快適な道路空間の形成」を推進していくために、東二番丁通及び東三番丁通において自転車の社会実験を行いました。

<http://www.city.sendai.jp/toshi/kotsukeikaku/jikken/index.html>

●おでかけ電車社会実験事業【富山市】

富山市では、中心市街地の活性化を図るために、公共交通の利便性の向上に取り組んでいます。今回、不二越・上滝線等で「おでかけ電車」の社会実験として、7月1日(日)

～10月31日(水)に「おでかけ定期券」が利用できるようになります。

[http://www7.city.toyama.toyama.jp/window/13\\_another/01/01\\_3.html](http://www7.city.toyama.toyama.jp/window/13_another/01/01_3.html)

●ディーゼル自動車等運行規制に伴う街頭検査の実施結果について【兵庫県】

兵庫県では、近畿地方整備局他関係機関が実施した「尼崎地区ディーゼル車排ガスクリーンキャンペーン」にあわせて、ディーゼル自動車等運行規制の街頭検査を実施しました。6月26日10時30分からの2時間の検査結果を報告しています。

[http://web.pref.hyogo.jp/press/press\\_ac021\\_00001888.html](http://web.pref.hyogo.jp/press/press_ac021_00001888.html)

●「自動車環境セミナー in あまがさき」を開催【尼崎市】

尼崎市は、アルカイクホール・オウトで「自動車環境セミナー in あまがさき」を開催しました。尼崎市は、6月25日に「CNG車普及促進モデル事業」のモデル地域として指定を受けており、環境にやさしい天然ガス(CNG)自動車のさらなる導入促進を図るために開催しました。

[http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/ama\\_weekly/ama\\_weekly\\_0.html](http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/ama_weekly/ama_weekly_0.html)

●電気自動車普及への挑戦【神奈川県】

神奈川県では、高い環境性能などを持った電気自動車(EV)を、地球温暖化の防止や都市環境の改善、石油依存度の低減など「環境・資源問題」への有望な切り札の一つとして普及を推進していきます。

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/taikisuisitu/car/04ev.html>

●第5回「モーダルシフト取り組み優良事業者」の公募について【日本物流団体連合会】

社団法人日本物流団体連合会は、第5回「モーダルシフト取り組み優良事業者」の公募を実施中です。本公募は、モーダルシフト促進に関し、物流事業者の自主的な取り組みの推奨や、取り組み意識の高揚を図るため、モーダルシフトを積極的に推進した優良な事業者を公表しようとするものです。

<http://www.butsuryu.or.jp/news/jpg/20070629.html>

●世界初のハイブリッド鉄道車両が営業運転を開始【JR東日本】

JR東日本では、「環境負荷低減」をコンセプトに、新しい動力システムであるハイブリッドシステムを搭載した車両(キハE200形)を3両新造しましたが、2007年7月31日から小海線(小淵沢～小諸間)で、世界で初めて営業車として運転を開始します。

[http://www.jreast.co.jp/press/2007\\_1/20070704.pdf](http://www.jreast.co.jp/press/2007_1/20070704.pdf)

●大型ハイブリッド路線バスの燃費基準適合車発売【日野自動車】

日野自動車は、大型ハイブリッド路線バス「日野ブルーリボンシティハイブリッド」を“重量車

の平成27年度燃費基準”に適合させ発売しました。また、同車は平成17年(新長期)排出ガスの規制値に対してNOxおよびPMの排出量を低減させた“低排出ガス重量車”にも適合しているため、自動車取得税の軽減ならびに国土交通省の補助の対象となります。

<http://www.hino.co.jp/j/corporate/newsrelease/pressrelease/detail.php?id=155>

●「Honda 環境年次レポート 2007」を発行【本田技研工業】

本田技研工業は、2006年度の環境保全取り組み実績と2007年度の目標をまとめた環境報告書、「Honda 環境年次レポート 2007」を発行しました。「2010年世界CO2低減目標」に対する2006年度の実績(進捗状況)や、「国内事業活動における2010年度環境負荷低減目標」と達成に向けた取り組みを掲載しています。

[http://www.honda.co.jp/environment/e\\_news2/070626.html](http://www.honda.co.jp/environment/e_news2/070626.html)

●小学校における交通・環境学習に関する事例集を公開【交通エコロジー・モビリティ財団】

交通エコロジー・モビリティ財団では、交通と環境問題に関する学習プログラムの取り組み事例集を作成しました。これは、和泉市や豊中市をはじめとして、大阪府の小学校での取り組み事例を取りまとめたものであり、学習の進め方や、学習を進めていくうえでの留意点についても整理しています。

[http://www.ecomo.or.jp/traffic\\_work/eco\\_study\\_top.htm](http://www.ecomo.or.jp/traffic_work/eco_study_top.htm)

---

#### 4. イベント情報

●「第二回 日本モビリティ・マネジメント会議」

日時:2007年7月27日(金)~28日(土)

場所:札幌コンベンションセンター

主催:(社)土木学会、国土交通省

<http://www.plan.cv.titech.ac.jp/fujiilab/jcomm.html>

●「西宮市天然ガス自動車フェスティバル」

日時:2007年7月31日(火) 13:00~16:30

場所:西宮市役所及び周辺一帯

主催:西宮市CNG車普及促進モデル地域協議会、西宮市

連絡先:西宮市環境局環境緑化部環境監視グループ(TEL:0798-35-3801)

●「エコライド2007イン仙台(パレード走行)実施」

日時:2007年8月19日(日) 9:00~

場所:河北新報社前一館コミュニティーセンター前(約18.5キロ)

主催:河北文化事業団、仙台市

<http://www.kahoku-bunka.or.jp/>

●地球環境大学「脱！温暖化生活」

ー交通編「クルマで移動はもったいない！エコ交通の秘訣」

日時:2007年9月8日(土)13:30-16:30

場所:大阪歴史博物館

主催:特定非営利活動法人地球環境と大気汚染を考える全国市民会議(CASA)

<http://www.bnet.ne.jp/casa/katudou/chikandai/chikandai15/chikandai15.htm>

---

5. その他

●交通エコロジー・モビリティ財団がシンボルマーク・イメージキャラクターを募集中

交通エコロジー・モビリティ財団では、財団のシンボルマーク及びイメージキャラクターを募集中です(募集期間:6月1日から8月31日まで)。詳細は財団のホームページをご覧ください。たくさんのご応募をお待ちしています。

[http://www.ecomo.or.jp/gaiyo/gaiyo\\_symbol\\_boshu.htm](http://www.ecomo.or.jp/gaiyo/gaiyo_symbol_boshu.htm)

●記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。EST、または「交通と環境」に関連する取り組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。

→ E-mail:[EST@ecomor.jp](mailto:EST@ecomor.jp)(担当:市丸)

---

発行:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局  
(交通エコロジー・モビリティ財団)

E-mail:[EST@ecomor.jp](mailto:EST@ecomor.jp)

ESTポータルサイト:<http://www.estfukyu.jp/>